

# いっしょにま〜ま グループ

## 子供たちの笑顔が最高

### — ま だ の 会 —



△芙蓉会の子供たちと「金のガチョウ」

まどの会は、まず自分の心の窓を開き、声をかけ合い、助け合い、互いに成長しようと大渕に生まれたグループです。

地域の子供たちへの本読み活動を経て、昭和54年から人形劇の自主制作・上演を始め、今までに九つの劇ができました。

「子供たちに夢と希望を」、そんな熱い思いで夢を膨らませた結果で、4・5ヵ月かかってできた人形を持って、幼稚園、保育園、福祉施設などを飛び回っています。また大渕小学校の子供たちと、敬老の日に子供たちがお年寄りの胸にかけてあげるペンダントづくりもしています。

楽しくボランティア活動をするために反省会、忘年会は怠りなく、また美術館の見学、演劇鑑賞、他グループとの交流などで力を蓄え、子供たちの心のふるさと「まどの会のおばさん」になれたらと、ささやかな活動をしています。

問い合わせ 保健婦人センター内  
ボランティアセンター ☎64-7100

今号の表紙に富士山を背景とした菜の花かレンゲソウの写真を載せようと、市内を探しましたが、よい場所がなく没…。春の訪れを告げる植物もだんだん見られなくなってきたが、道端や空き地にナズナ、イヌノフグリなどが咲き、春は確実にやって来ています。

こちら編集室

## 富士の今と昔 ④7



🕒 昨年3月に校庭が広がった

🕒 この校舎は昭和40年ごろまで使われていた



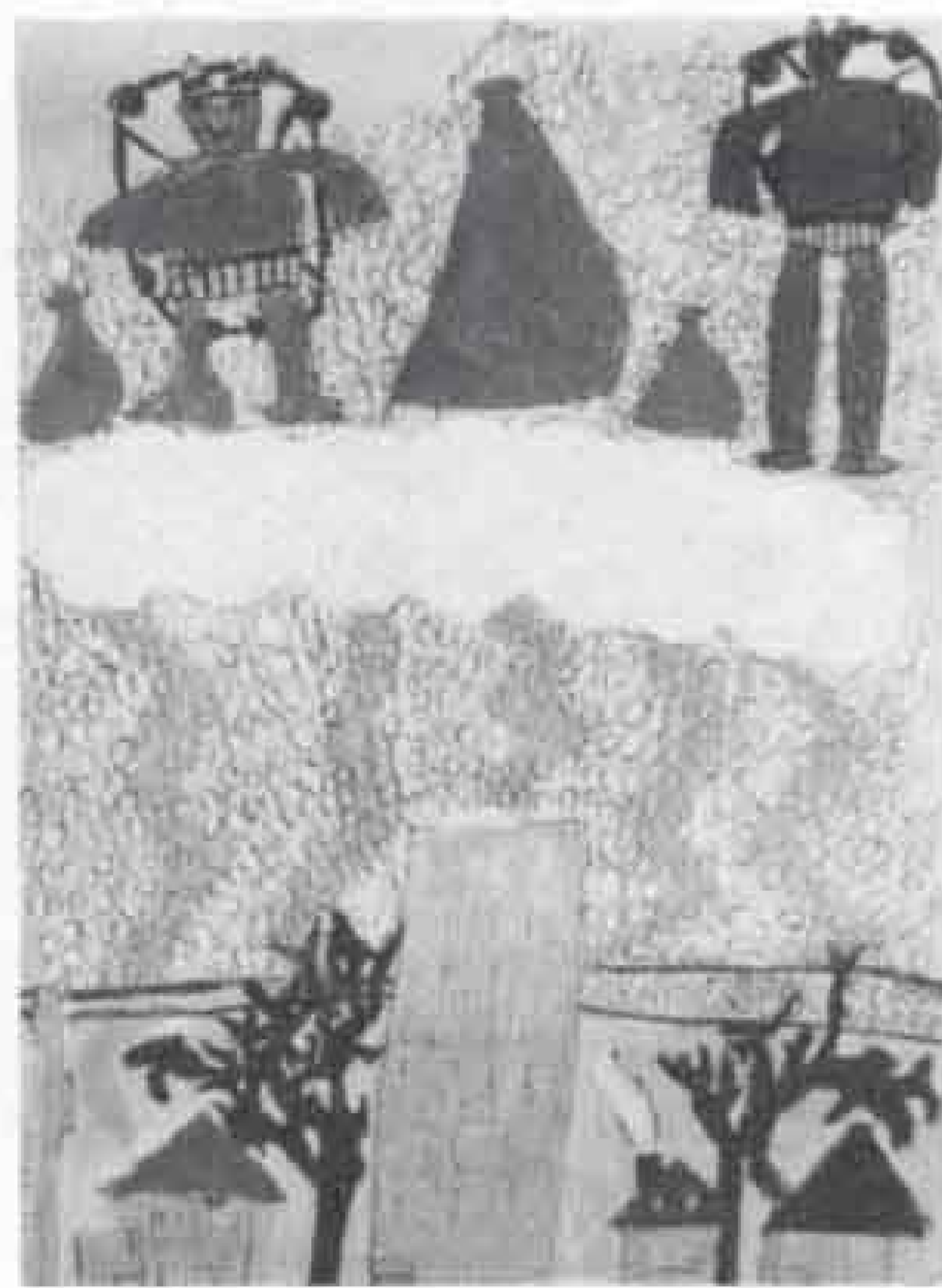
昭和二年ごろの須津小学校です。この校舎で学んだ大塚作太郎さん(七十五歳・神谷)のお話。「兄弟が大勢で下の子をおぶって学校へ行ったよ。勉強中に泣き出すと廊下に出されるので、背中の子に八つ当たりもしたね。演奏会での地区では初めて『白地に赤く』を二部合唱したんだ。音程が違うので何の歌だかわからない人が多くて、後で笑われたね。思い出はいっぱいあるよ。」



## ぼくの作品 わたしの作品



伝法小学校のお友だち(一年生)は図工の教科書に出て来たお話の絵をかきました。雪を降らせる雷さまが本当にいたらおもしろいですね。



白い雲にのって大きな雪のふくろを持った雷さまがやって来て、いっぱい雪をふらしたよ。町も学校も雪でまっ白だ。いなづまも雷さまも、こわくかけたよ。



えのもとしんや



赤おにはたいこをたたき、青おには大きなふくろで雪をふらせているよ。子どものおにも、風をふかせて応えんしている。ぼくは雪合戦をしたいな。



そねだけいすけ